

「地域ブランド」と「つよこの祭りの統一化」

津山新風会議 吉田 耕造



質問→津山という地域にあって、他の地域よりも優れた「商品」「サービス」「システム」のブランドと地域イメージの

ブランドを融合させ、互いの特性をより高めて、地域外の資金を呼び込む事業が「地域ブランド戦略」である。当市では鶴山公園のさくらではないか。年間約五十九万人の観光客が訪れる。さくら祭り期間中に鶴山公園と衆楽園に約40%の二十一人が訪れる。さくら祭り、ごんご祭り、城西、城東、佐良山の五つのイベントを一つに集約して、津山発、地域ブランドとして三月下旬から四月中旬に集中して開催しては。

答弁→各祭りの実行委員会に呼びかけ、地域ブランドの考え方や祭りに対する意見交換の場を設けたい。

介護保険利用者の利便性向上を

公明党津山市議団 川端恵美子



質問→現在は、介護保険認定者が住宅改修や福祉用具の購入時に改修費等を本人がいったん全額支払う「償還払い制」

となっている。改修費等の一割が自己負担で残りの九割を市に支給申請し後日市から支給される。これは利用者にとって非常に負担が大きい。利用者の負担を軽くできる支援策として市の支給分を事業者に直接支払う「受領委任払い制度」を実施すべきではないか。また、高齢者の社会参加活動と介護予防のつながりはどう考えるか。

答弁→受領委任払い制度は利用者の利便性の向上のため実施に向け研究する。心身の健康を保ちながらボランティア活動へ積極的に参加し元気な高齢者が増えることが介護給付費の抑制と保険料の抑制につながると期待している。

新津山市の教育問題・総合施設・踏み切り拡張

新風会 庄司 勝義



質問→津山市として知徳体のバランスのとれたまちづくりを進めていこうと考えているのか。

答弁→核家族化や共働きの増加に伴い家

庭地域、学校が丸となり、お互いが思いやり相手に喜ばれ、しあわせを感じることができるようにする。

質問→住居、商業、高齢者福祉、児童保育等一体となった複合施設で中心市街地と地域の活性化はできないか。

答弁→再開発事業のあり方委員会から今後の再開発事業のあり方について提言してもらおう。

質問→津山市全域での踏み切り拡張の必要箇所とその方向性は。

答弁→津山市内で拡張の必要箇所は四箇所。旧久米では八幡神社、福本がある。本年五月にJR西日本と協議した。また、岡山県にも要請した。

地域に密着した支所体制づくりを

新風会 松本 義隆



質問→支所職員の人事異動について、旧町村出身の職員を支所に戻し、地域に

密着した市民サービスにつながる支所体制にするべきでは。

答弁→職員本人の希望及び上司の評価など勘案しながら適正配置に努め、親しみやすい地域に密着した市民サービスにつながる支所づくりを考えていきたい。

質問→安易な入札制度改革は、業者の崩壊につながる。一般競争入札の拡大について、今後どういう考えで行うのか。

答弁→一般競争入札の適応拡大を検討中であり適応拡大に際しては、市内業者ランク別業者数や金額を考慮しながら、適正な制度を目指したいと考えている。